

■ 市民アンケート調査結果【概要】

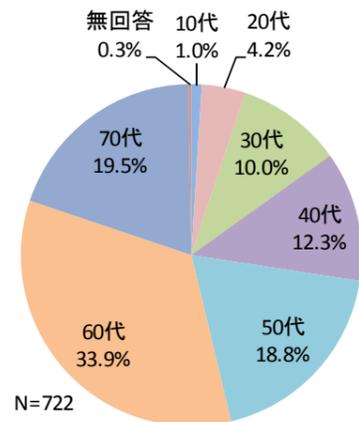
アンケートの概要

目的；三次市公共施設等総合管理計画の策定にあたり、計画の方向性を検討する上で、公共施設の利用状況や利用者の意向を把握するとともに、公共施設に対する意識啓発を図る。

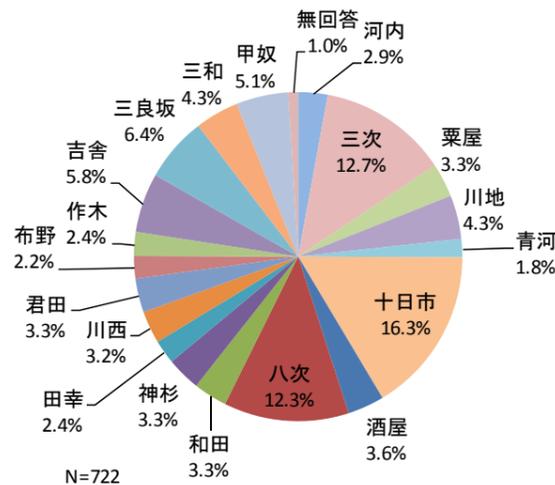
- 調査対象者：三次市に居住する満18歳以上の方のうち、無作為に抽出した2,000人を対象
- 調査期間：平成27年7月16日（木）～平成27年7月31日（金）
- 調査方法：調査票を郵送配布・返信用封筒にて返送回収
- 調査対象数：2,000票
- 有効回答数：722票（回収票に一部でも記入あるものすべてを有効）有効回収率は36.1%

回答者の属性

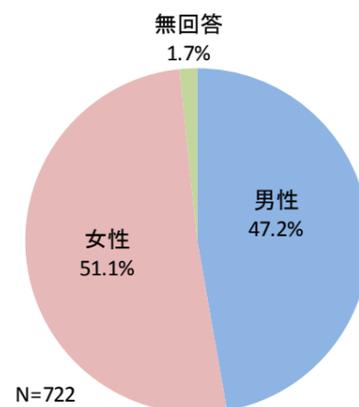
年齢



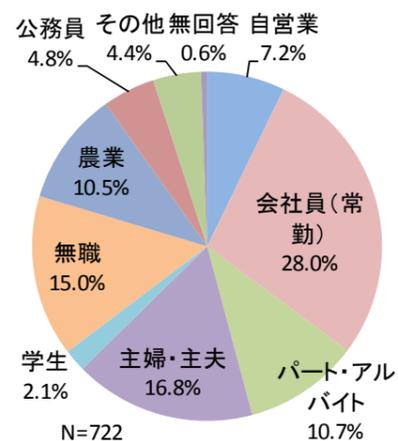
居住地域



性別



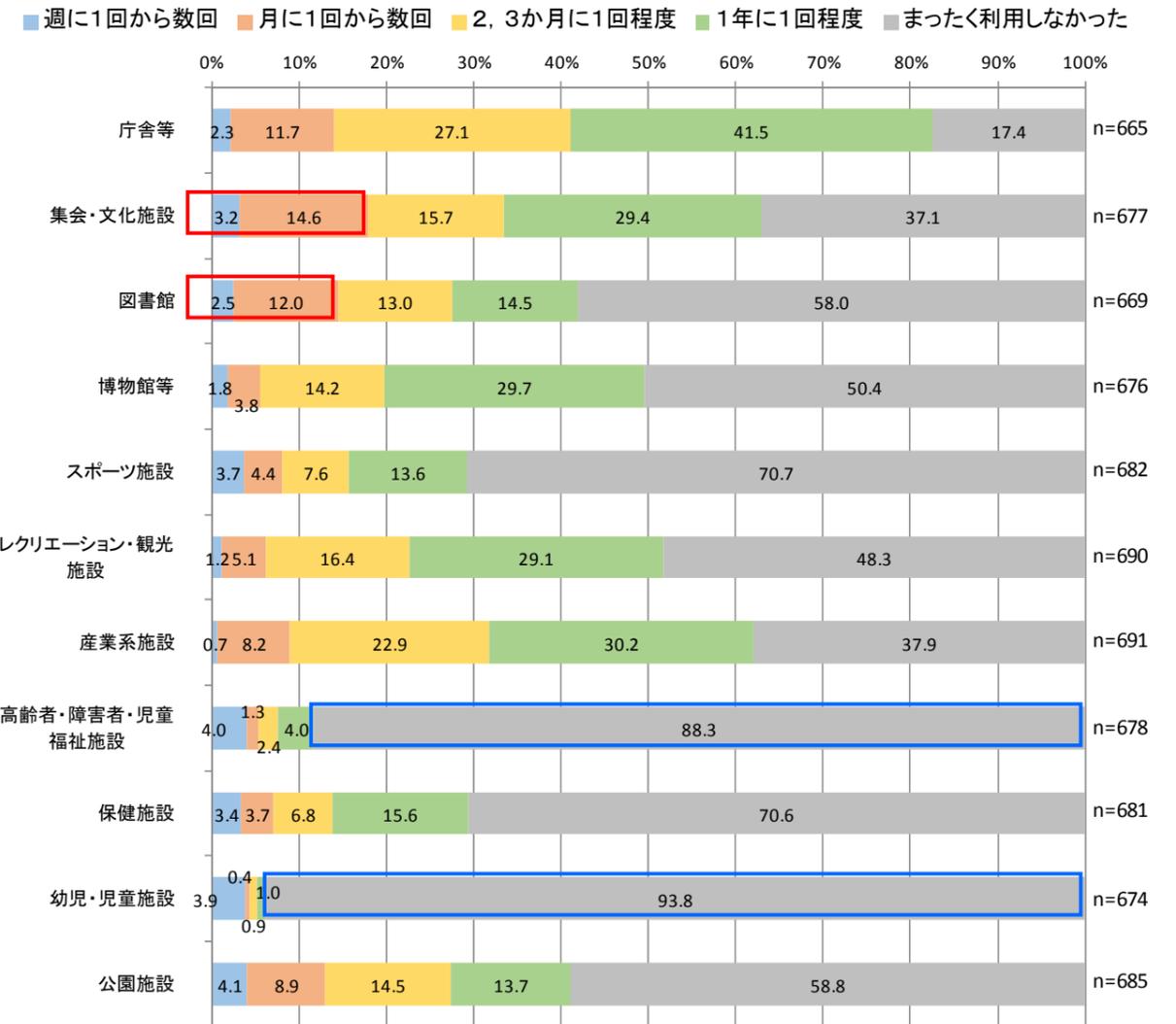
職業



公共施設の利用頻度

○月に1回以上利用した人は、集会・文化施設が最も多く、次いで図書館の順。

○過去1年間でまったく利用しなかった人は、幼児・児童施設、次いで高齢者・障害者・児童福祉施設で多く、それぞれ9割前後の人が回答。



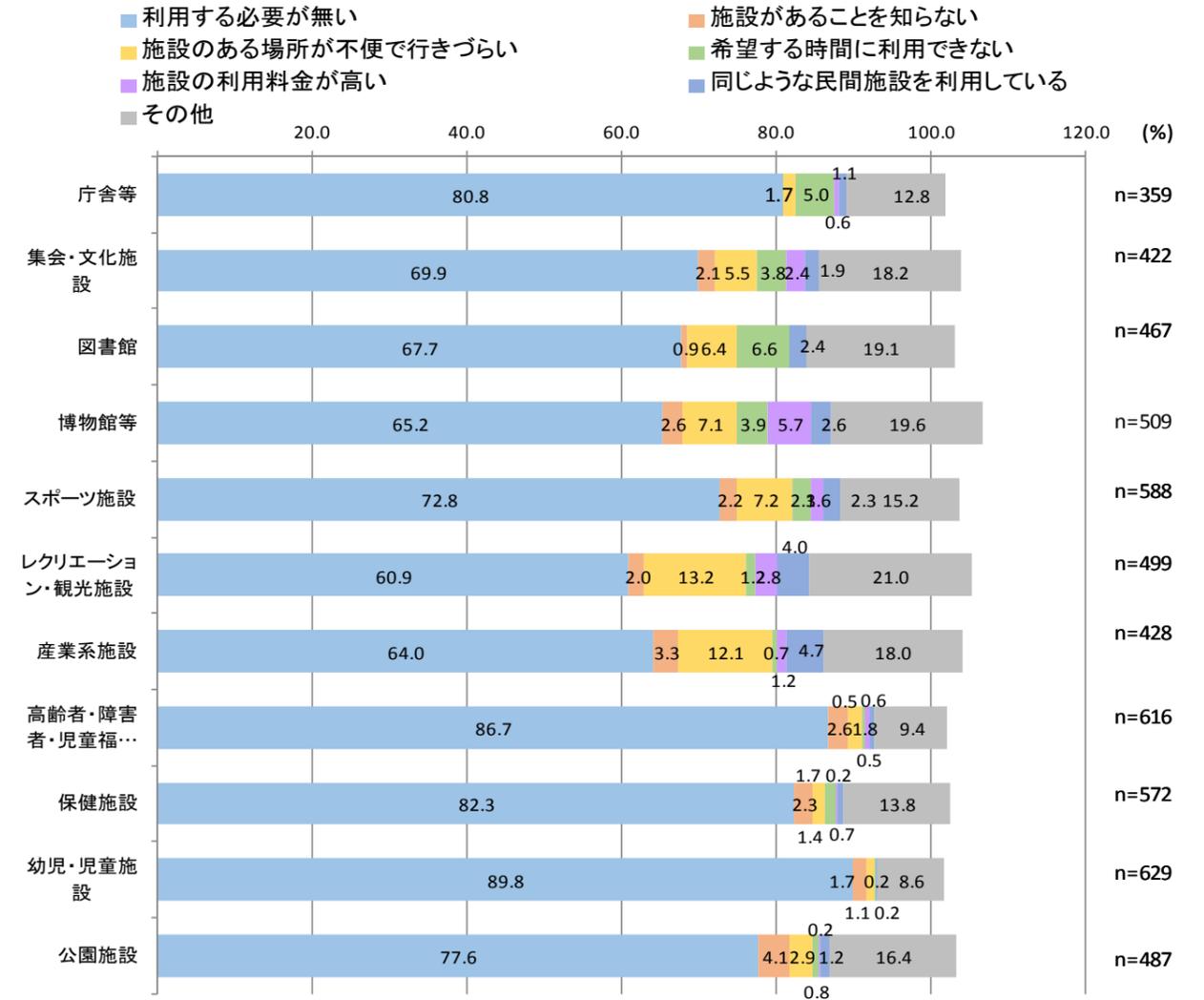
- 施設例
- 庁舎等（三次市庁舎・各支所）
 - 集会・文化施設（三次市民ホール、みわ文化センター、各コミュニティセンター等）
 - 図書館（市立図書館）
 - 博物館等（美術館、歴史民俗資料館、生涯学習センター等）
 - スポーツ施設（体育館、吉舎 B&G 海洋センター、陸上競技場等）
 - レクリエーション・観光施設（江の川カヌー公園さくぎ、君田温泉森の泉、吉舎とみしの里等）
 - 産業系施設（道の駅ゆめランド布野、物産館みわ375、みらさか竹工房、職業訓練センター、堆肥センター等）
 - 高齢者・障害者・児童福祉施設（グループホーム・小規模多機能施設、福祉センター等）
 - 保健施設（福祉保健センター、各保健センター等）
 - 幼児・児童施設（児童館、各放課後児童クラブ）
 - 公園施設（地区公園、近隣公園、みよしあそびの王国等）

施設ごとの利用傾向

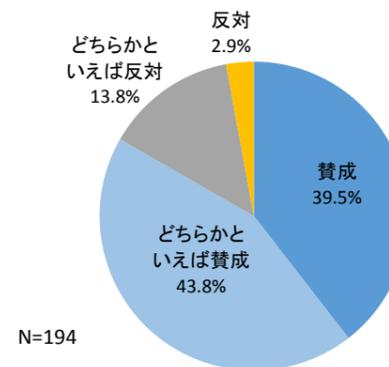
●庁舎等	若年層より高年齢層の利用が多い傾向が見られ、地域別では比較的人口の少ない粟屋・川地地域や周辺部の吉舎地域で多い。
●集会・文化施設	年齢が高いほど利用が多く、中心部に近い酒屋地域や農村部の川西地域で多い。
●図書館	女性の方が多く、年齢別では30代をピークに若年齢層ほど利用が多い。地域別では、主要な公共施設が集積し市立図書館の立地する十日市地域で多い。
●博物館等	女性の方が多いが、全体として利用頻度は低い。地域別では、粟屋地域の9.5%の回答者が毎週利用すると答えている。
●スポーツ施設	女性が男性より僅かに多く、年齢別では40代が最も多く、比較的若年層の利用が多い傾向にある。地域別では、中心部周辺の田幸・神杉地域の利用頻度が比較的高い。
●レクリエーション・観光施設	年齢別では、ばらつきがある中で60代が最も利用頻度が高い。地域別では、君田地域で月に1回以上利用した人が2割を超えている。
●産業系施設	男性が女性より多く、年齢ごとにばらつきが見られる。地域別では、中山間農村地域の作木・布野の両地域で利用頻度が高い。
●高齢者・障害者・児童福祉施設	9割近くの人がまったく利用しなかったと答えており、利用頻度は全体的に少ない。
●保健施設	年齢別では60代が多く、地域別では君田・八次・粟屋の各地域で利用頻度が高い。
●幼児・児童施設	女性の方がやや多く、年齢別では子育て世代の30代が最も多く、15.7%の人が週に1回以上利用している。地域別では神杉地域と河内地域で利用頻度が高い。
●公園施設	女性の方がやや多く、年齢別では子育て世代の30代が37.1%と最も多い。地域別では和田地域が27.3%と最も多い。

利用が少ない理由

- 全体としては「利用する必要がない」の割合が各施設で最も高く、特に幼児・児童施設や高齢者・障害者・児童福祉施設は回答数の8割を大きく超えている。
- 「施設のある場所が不便で、行きづらい」は、レクリエーション・観光施設や産業系施設で高く、「希望する時間に利用できない」の回答は、図書館や庁舎で高い。



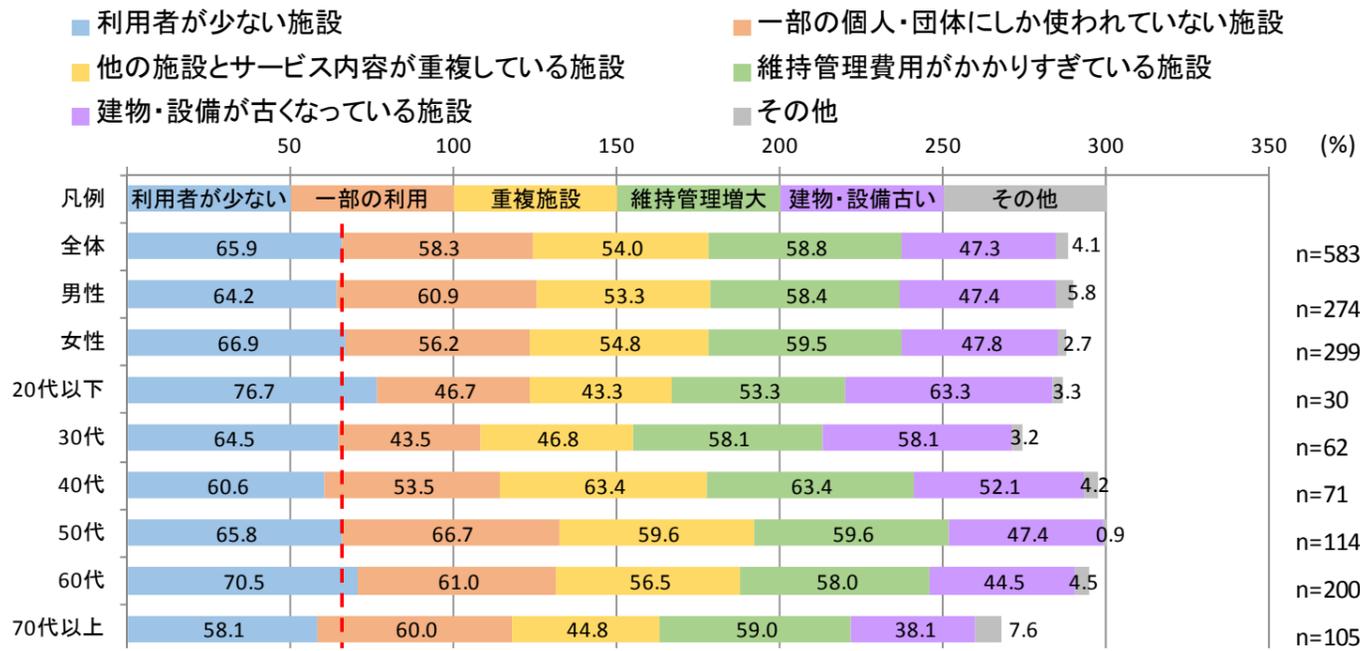
公共施設への取組みへの賛否



必要な公共サービスを維持するために、施設の集約化や複合化、統廃合など、規模縮小への取組の必要性について、「賛成」が39.5%、「どちらかといえば賛成」が43.8%で、8割以上が賛成となっています。

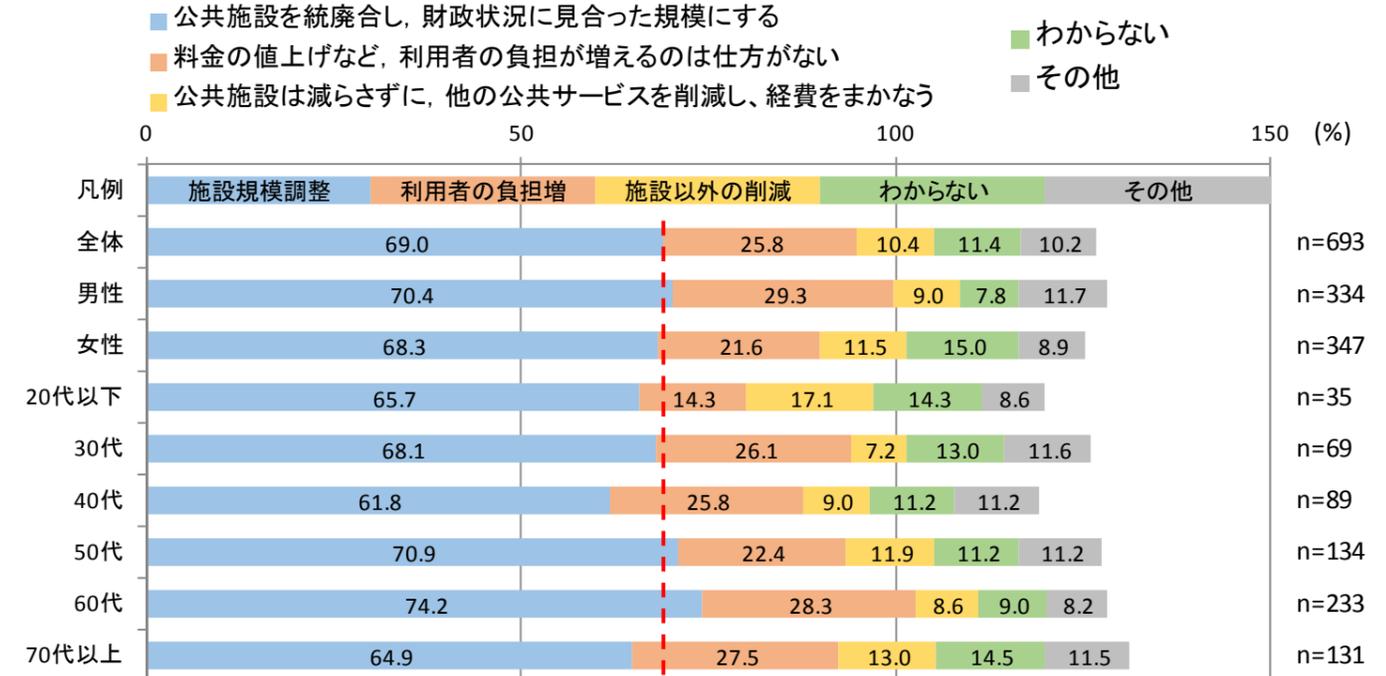
見直しの対象となる施設

どれも見直しの対象になる可能性がある中で、20代以下で「利用者が少ない施設」が特に高く、50代では「一部の個人・団体にしか使われていない施設」が高い。



建替えや維持管理の負担

全体では統廃合等による規模縮減や利用者負担に肯定的な意見が多く、20代以下で「公共施設は減らさずに、他の公共サービスを削減し、経費をまかなう（17.1%）」が他の年代に比べ高い。



建替えや維持管理の考え方

全体では統廃合等による施設の縮減に7割以上の方が肯定的な意見を持ち、高年齢層でも同様の傾向を示している。一方、20代以下では「施設はまだ不足しているので、今後も増やしていく」の割合が比較的高い。



◆その他の意見（抜粋）

<見直しの対象となる施設に関する意見>

- 収益のある施設自体の収入で維持管理費を賄えない施設。
- 小学校の統廃合、小中学校の一貫教育。
- 独自採算性で公共では無く、一般利益を求めると運営すべき時代に来ている。
- 古くなっていても必要な施設は直しても使うべき。

<建替えや維持管理の考え方に関する意見>

- 集約・統廃合は施設までの距離が遠くなり益々利用しづらくなる。
- 利用率の低い施設は（用途の限られた施設等）は廃止。多用途施設に集約。
- 集約しそこに集まれる手段（公共交通機関）を充実させる。
- 「あったら便利」より「なければ困る」という基準で考えていって欲しい。

<建替えや維持管理の負担に関する意見>

- 利用者が少なくて利用するのに不便な施設は、経費を削減するため廃止又は転用すべき。
- 利用料金の値上げをせず、利用者の増を図る取り組みを進める。
- 民間企業等とコラボして利益を生み維持出来る仕組みを考える。
- 維持管理をその地域や利用団体へも任せ、みんなで管理していく。

自由回答（抜粋）

<p>全般的な推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●建てる（建て替え）前に民意を聞く。特に生産年齢人口の意見を尊重すべき。その際、予算についての詳細を明かにする。 ●市役所や市議会の考え方をもっともっと小単位の地域コミュニティレベルで考えて欲しい。住民個々とひざ詰めで議論する場をより多くセッティングしていただければ、より有用な公共施設の運営のあり方が創出されるのでは。 ●利用者負担に見合うサービスのあり方の検討。利用者が少ないという理由だけで公共施設を閉鎖すべきでないと思う。 ●多種多様な公共施設があることが、市民にとって大変有り難く心強いことです。 ●三次市庁舎、市民ホール、美術館、陸上競技場、野球場などの公共施設が点在し過ぎ。公共施設は1ヶ所集中が良い。 ●各地区のコミュニティの大切な場所なので、今ある施設はそのまま維持して行く。高齢化の社会なので、元気な人に維持管理を任せて、出来るだけその地区の人で協力して行く。市民は公に頼るばかりでなく、自分たちで助け合って行く社会にしたいと思います。 ●人口が少ない状況において、施設を動かすより人を動かすことにより集約を図ってはいかがでしょうか。若い人、村へ、お年寄り、町へ、人を動かしてはいかがでしょうか。 ●大型施設は市街地に集中しているため、周辺地域からも利用し易いようにアクセス道路の整備が必要。（例えば、道路の拡幅、公共交通機関の増便等々） 	<p>施設の利活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●利用料の増収の為に、公共施設をもっと活用しやすくする工夫も必要では。魅力的なイベントを増やす、誘致することも。 ●今後高齢者の人口の割合が増えてくるので、空スペースを高齢者向けの運動施設にするといった活用も考えて欲しい。 ●収益的施設は、施設の管理運営を効率的に行うと共に、収入を増やす努力をして、収入で維持管理費を賄うべき。（直売所、加工所、レジャー施設、道の駅等） ●人との関わりが希薄になっている昨今、公共施設が誰もが使いやすく人が交流する場所が必要であると思います。空いている所を色々な活動をしている団体に開放（貸す？）するのも良いのではないのでしょうか？ ●各地区のコミュニティセンターを建替える時小学校の空教室を利用は出来ないか。行政の縦割りを無くし、もっと横の連携を取られるようにしたらどうですか。 ●施設の規模が大きいものは、民間企業の力を借りて運営する。しかし、その場合新しい違った利用方法や利用を考えてみたらどうでしょうか。（例・図書館+喫茶店）高齢者が集まるような施設を考える。既存の施設を新しいアイデアで利用方法を大胆に変える。 ●各支所の空室の一般開放。 ●利用料金を安くして欲しい。希望する時間に利用できず使用したくても出来ません。
<p>施設の新規整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今ある施設で十分。これ以上増やさないで下さい。三次地区にある施設は交通の便が悪い。 ●新規に作らない（不要・不急なもの）。 ●やはり新しい施設も必要だと思います。老人が元気で増え、若人が減って、それに応じた対策、気候も変化し、今の時代に合う公共施設。 ●本当に必要な施設なら建築すべきで、民間に委託して維持管理して行く。 ●公共施設の統廃合の前に新たな施設の建設をやめる。統廃合で不要になった施設の売却またはリースすることにより、残った施設の維持管理費の足しにするのはどうでしょう。 	<p>施設の維持管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生活に関連する施設は大切に維持する。地域の維持やコミュニティの維持は大切。単に効率性だけでは公共サービスの低下に繋がる。 ●民間業者に委託してはどうか。現在のやり方では、市民の負担が増すだけです。 ●今後、新設・改修を行う施設についてはランニングコストを明かにし整備されたい。 ●経費削減しかない。 ●常時使っているぐらいの人が集まる場所にすると共に、みんなで管理運営（ボランティアも含み）し、みんなの財産としてシェアする感じにして行く。
<p>施設の統合・削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●年間利用者の少ないところは廃止する。 ●橋梁のようなものは計画的に整備。地域集会所・グラウンド等は地元へ譲渡。 ●公共施設を統廃合し、利用者が困らないように公共交通機関を増やして欲しい。 ●統廃合による合理化は最終手段であると思う。 ●統廃合でどうしても支障が出る場合は、タクシー等の利用で近くの施設に送り迎えした方が安くつくと思う。 ●同じ町内にある施設は建て替える際に同じ建物内に整備する。経費を削減する。 ●公共施設は災害時などの拠点となるもの。統廃合に当たっては被災確率の低い条件も考慮すべきと思う。縦割りで専門性も大切であるが、全体的な視点がより大切となる。 ●地域の公共施設は、地域をギリギリ存続させる為の希望（よりどころ）であったりします。効率だけの廃止は効率以上のマイナスになる可能性もあると考えます。 ●市民が利用したい施設が少人数であっても、その人達には必要な施設なので、統廃合はなるべく避けたいと思う。しかし、景気が上向かない事には収入も上がらず、利用料金を払う気持ちも薄れて利用回数が減るのも事実である。 	<p>施設の情報・PR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設がどこに何があるのか知らないの、どこで何が出来るか周知してはどうかと思う。 ●公共施設でこんな事をしていますと、もっとアピールして下さい。 ●いらぬパンフレットが多い。地域の小さな公園が少ない。歩いて行ける場所があると良いと思います。お願いします。 ●公共施設の各利用内容についてのアピールが少ないと思います。また、利用に対して市民を優先するもの、三次市以外の方を優先することで利用数を増やすなど、施設の利用拡大に繋がる方法があるような気がします。
	<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●どうしても人口の多いところに集中しており、少ない所に住んでいる人は、交通の便とかでも不利であり、税金は同じではあわない。 ●現在仕事を持っているので、離れたら図書館・美術館等利用させていただきたい。 ●このアンケートをする事の意味が分かりません。これも税金。 ●公共施設等は、市民が本当に必要とし利用しないと成り立たないと思うので、このアンケートは方向性に向けての重大なものとなると思います。 	